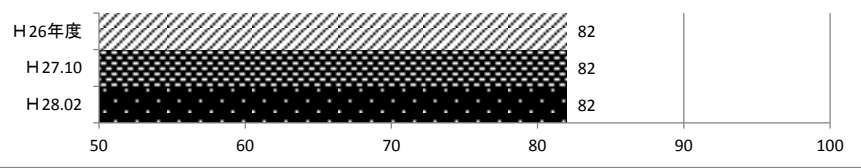


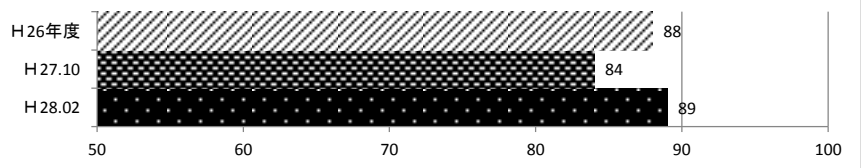
平成27年度 学校評価 保護者アンケート 28年2月実施結果

学校運営

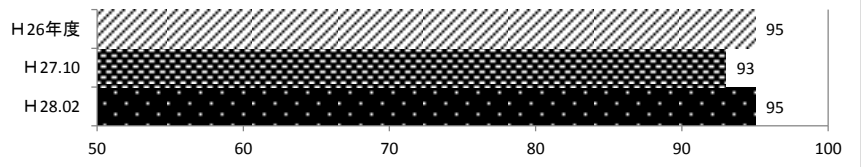
1 学校は、学校教育方針等をわかりやすく伝えている。



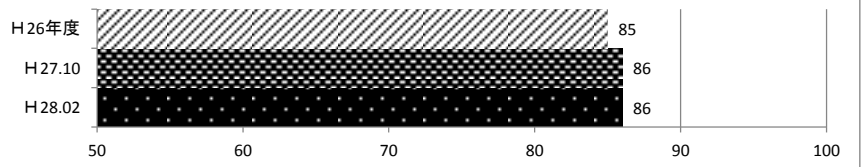
2 学校は、教育活動の充実・改善に積極的に取り組んでいる。



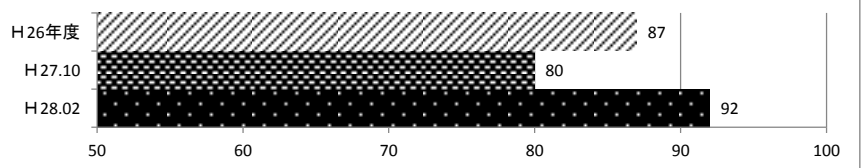
3 学校は、地域の人材や施設などを生かした特色ある教育活動(体験学習・ボランティア等)を行っている。



4 学校は、学校開放等を通して、開かれた学校づくりに取り組んでいる。

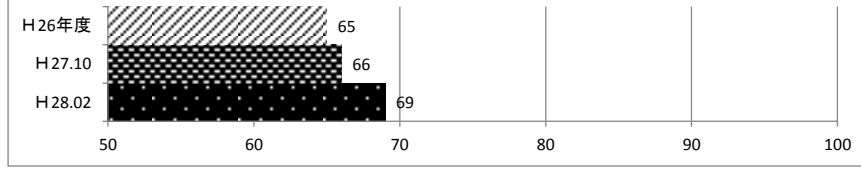


5 学校は、子どもの様子を学校・学年だよりやホームページ等で知らせている。

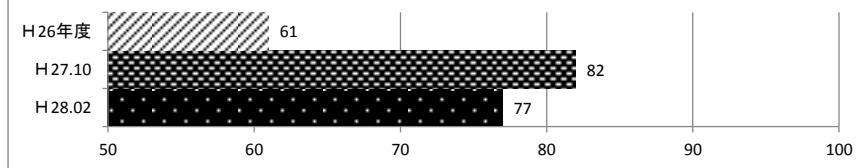


確かな学力

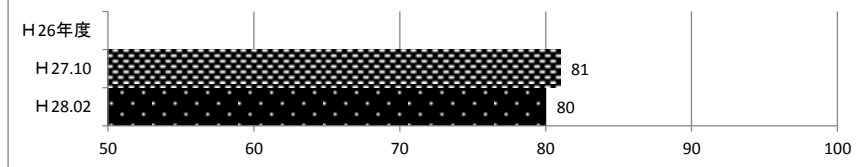
9 学校は、授業で個に応じた指導を行っている。



10 学校は、進んで家庭学習をする習慣を身につけさせようとしている。

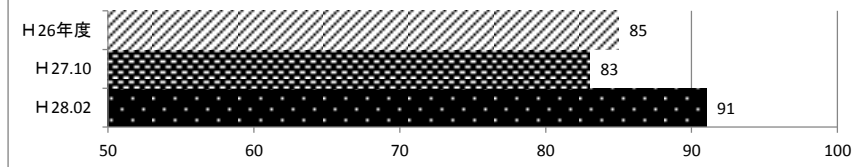


11 子どもは、家庭や地域で、気持ちの良いあいさつをしている。

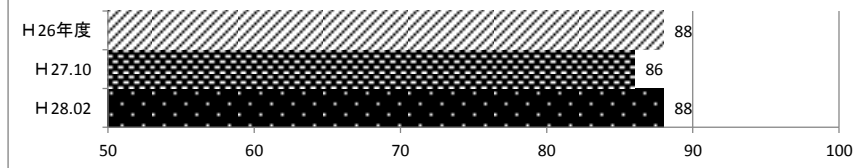


豊かな心

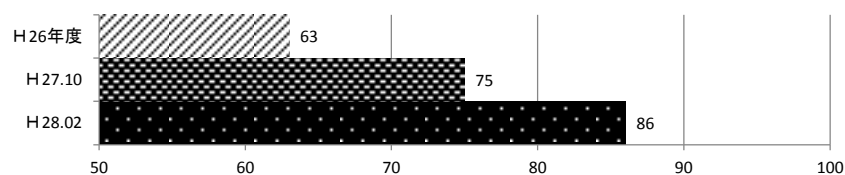
12 学校は、教育活動全体を通じて、やさしさや思いやりのある子どもを育てようとしている。



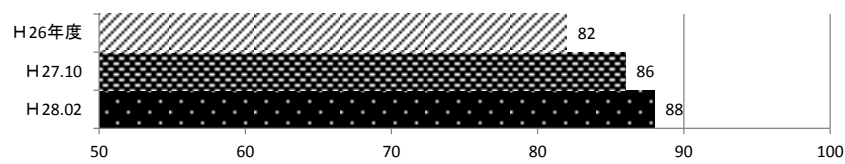
13 学校は、社会におけるルールやマナーを守る態度を育てようとしている。



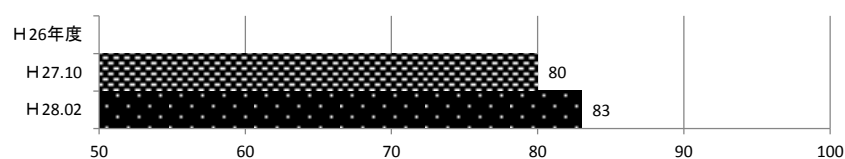
6 学校は、わかりやすい授業に努めている。



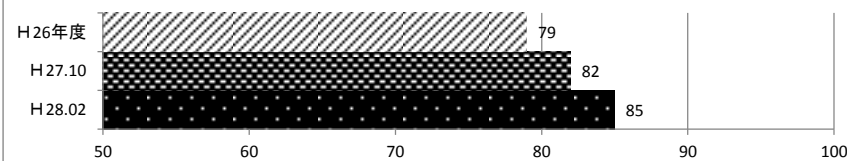
7 学校は、子どもに読書をする習慣づけを行っている。



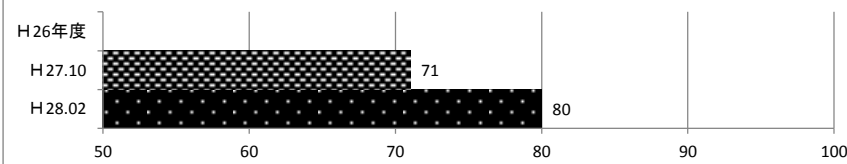
8 学校は、学習課題やめあてを提示して、授業を行っている。



14 教員は子どもの悩み解消のため気軽に相談に応じ、子どもの気持ちを理解しようとしている。



15 学校は、進んで手伝い・掃除をする子どもを育てようとしている。



確かな学力

豊かな心

(考察) 全体的に見ると、3分の2の項目で、昨年度より高い評価結果となっており、本年度の取組を肯定的に捉えていただいている。学校運営で高い評価を受けたのは、「学校は地域の人材や施設などを生かした特色ある教育活動を行っている。」が95%であった。これからも、ボランティア活動や職場体験・体験学習等、地域とのつながりを生かした特色のある教育の推進に力を注いでいきたい。また、「学校は、子どもの様子を学校・学年だよりやホームページで等で知らせている。」では、今回2月のアンケートで92%と肯定率が飛躍的に伸びている。これは、学校・学年だより・ホームページの充実など、情報伝達に力を注いだ効果が現れたと考える。

学習に関しては、「学校はわかりやすい授業に努めている。」では、昨年度63%から今回2月のアンケートでは86%と23ポイントも伸びており、授業改善に取り組んできた教師集団の努力が、保護者に評価されてきている。逆に、「個に応じた指導」と「家庭学習の習慣づけ」には、まだまだ課題があり、改善を加え工夫をした取組をしていく必要がある。

豊かな心を育てる教育には、「学校は、学校の教育活動全体を通じて、優しさや思いやりのある子どもを育てようとしている。」が91%と高い評価を受け、学校が生徒指導の充実をめざし、生徒一人ひとりが落ち着いた学校生活を送ることに、力を注いでいることを評価していただいている。一方、「学校は、進んで手伝い・掃除をする子どもを育てようとしている。」という問いで、肯定率が80%と低い。生徒は本年度平均で96%、教師は100%の者が掃除の実施や指導に力を入れているが、保護者には十分に伝わっていない。家庭においても、手伝いや掃除を自らできる生徒の育成に力を注いでいくためにも、手伝いや掃除をすることの大切さを今まで以上に生徒に考えさせ、進んで取り組む生徒を育てていきたい。